

## 附属病院検査部 Diagnostic Laboratory

1991年1月、吉河康二が佐賀医科大学病理学教室より助教授（副部長）として赴任し、病理専門医としての活動を開始した。6月25日、第一回の臨床病理カンファレンスが行われ、以後毎月第4水曜日の朝に開催される恒例の病院内行事となった。11月1日、検査マニュアル第2版が刊行された。11月25日主任臨床検査技師、望月次雄が医学教育等関係業務功労者として文部大臣表彰を受けた。11月29日には、人事委員会によって新規採用技師の全国公募による採用試験が行われた。

病院検査業務に関しては、細菌検査と病理検査についての出来事が特筆される。細菌検査では、全国的傾向である MRSA（メチシリン耐性ぶどう球菌）感染症が当院でも発生し、職員検診と病室等の細菌学的検査を実施したこと、および細菌学担当者の突然の入院が大きな試練であった。これを全員の工夫と努力で乗り切ったことは大きな自信となった。一方、病理検査は専任医である吉河の赴任に伴い、検査の質的向上が計られるとともに、術中迅速診断の開始や外部からの病理検査の受付開始により業務内容が増加かつ多様化してきた。

病理解剖は、先進的医療を志向する病院にとって不可欠の要素である。本年4月、数々の斬新的設備を備えた病理解剖室が竣工する予定であり、病理解剖が当院の臨床研究に役立つことを期待したい。

研究面においては、分子病理学的研究が開始されたことが注目され、特にパラフィン切片からの PCR 法（抗酸菌の検出）や各種ウイルスの *in situ* hybridization 法に対しては意欲的に取り組み、今後の発展が大いに期待される。

### 原著論文

1. Yoshikawa, Y., Baba, N., Watanabe, T., Sakemi, M., Huh, M.H. and Lee, S.R. 1991.  
Comparative study of IgA nephropathy between two institutions in Japan and Korea.  
Jpn.J. Nephrol., 33, 75-80.
2. Yoshikawa, Y. and Yamasaki, K. 1991.  
Renal lesions of hyperlipidemic Imai rats : A spontaneous animal model of focal glomerulosclerosis.  
Nephron, 59, 471-476.
3. 西村正幸, 吉河康二, 大津達也, 堀 嘉昭, 1991.  
肺小細胞癌の皮膚転移 (図説).  
大分医学, 10, 115-116.

## 著 書

1. 吉河康二, 1991.  
腎, 尿路.  
看護テキスト病理学 (渡辺照男編), 149-154頁, 廣川書店, 東京.

## 学会発表

1. 重安利恵, 望月次雄 (1991, 10/26).  
当院における MRSA 検査の現状.  
第2回生医研附属病院集談会, 別府.
2. 吉河康二, 山崎寛治, 穴井俊二, 佐脇正邦 (1991, 11/7-9).  
Imai Rat (高脂血症自然発症ラット) の腎病変, 第2報.  
第34回日本腎臓学会総会, 岡山.
3. 吉河康二 (1991, 11/16).  
穿孔を来したサイトメガロウイルス腸炎の1例: *in situ* hybridization によるウイルス DNA の証明.  
第204回九州スライドカンファランス, 熊本.
4. 吉河康二 (1991, 12/14).  
PCR 法によるパラフィン切片からの抗酸菌検出の試み.  
第68回九大病理研究会, 福岡.